

『今、保護者ができること』

～スマホ・ゲーム等の使用に関するガイドライン～

小林市立野尻小学校

スマホやゲーム機は単に通話や音楽、ゲームを楽しむだけでなく、インターネットに接続することで利便性を高めていますが、一方で事件や事故に巻き込まれる危険性があります。ネットトラブルから子供を守るために、保護者がインターネットの特徴を理解し、しっかり見守ることが大切です。

1 家族で話し合い、使う時間や場所を決める。

生活のルールやリズムを守るために、家庭で話し合って利用時間や場所を決めましょう。

(例：「午後9時以降は使わない」、「1日1時間まで」、「子供部屋には持ち込まない」、「食事中や車の中などでは使わない」など)

2 フィルタリングを付け、時々確認する。

〈フィルタリングの仕方の例〉

- ① 現在のスマホは、機体自体に一定のフィルタリング（不適切なサイトやアプリを利用できないようにブロックする）機能がありますので、スマホの設定でフィルタリングすることができます。
- ② NTTドコモやau、ソフトバンクといった携帯電話会社も独自にフィルタリングサービスを提供していますので、販売店で直接相談することもできます。
- ③ フィルタリングが行えるアプリがあります。いずれもネットの利用状況の確認や、長時間利用できないように制限を行う依存症への対策など、総合的な管理が行えるアプリとなっています。

3 自分自身や友だちの写真、動画や文などを投稿させない。

4 お金のかかるゲームやアプリを勝手に入れさせない。

5 大切なことを伝えるのに、スマホを使わせない。



自分撮り画像や安易な気持ちで送った悪ふざけ画像など、一度インターネット上に流れたら、全てを回収、削除することは事実上不可能です。よって、子供が写真や動画、文章等を勝手に投稿しないようにすることが大切です。また、ゲームで高額な課金、オンラインショッピングサイトでの詐欺被害など、お金の係わるトラブルも起きています。メールなど、文字のみでのコミュニケーションでは、微妙なニュアンスが伝わりにくく、些細な誤解からトラブルに繋がることもあります。日頃から、気になること、困ったことなどがあったら、すぐに相談するように、声をかけることが大切です。

※ メールでのいじめなどが起こったら、まず学校に連絡をお願いします。また、ネットでのトラブルの相談連絡先も一部紹介します。

● 警察本部サイバー犯罪対策課

☎ 0985-31-0110

インターネット利用上のトラブル（架空請求、名誉毀損や脅迫、詐欺など）の被害相談等を受け付けています。

● 県教育庁学校政策課 生徒指導・学校安全担当 ☎ 0985-26-7238

「ネットいじめ目安箱サイト」 <http://meyasubako.miyazaki-c.ed.jp/>

携帯電話やスマートフォン、インターネット等の利用に伴ういじめなどのトラブルに関する情報、収集、相談窓口です。

QRコード



野尻小学校 スマホのきまり

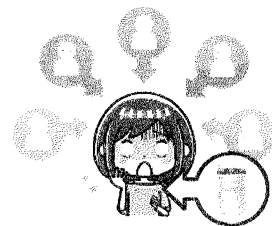
1 時間を守りなさい。



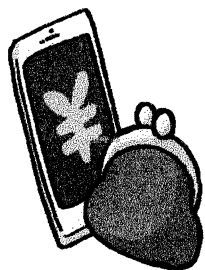
長時間使い続けると、あなたの健康に悪い影響を与えます。学習時間や家族と話を^{はなし}する大切な時間も少なくなります。睡眠時間が少ないと、頭が痛くなったり、眠くなったりして、次の日にも悪い影響が出ます。注意を聞かないで状態を良くしなければ、不安やいらつきが原因で家族との仲も悪くなるでしょう。自分でコントロールできなくなると、入院しなければ治すことのできない病気にもなります。

2 写真や動画、文を投稿しません。

写真や動画、文を投稿できるアプリケーションの対象年齢は13才以上です。なぜなら、子供が犯罪に巻き込まれる危険性が高いからです。知らない人が、投稿によってあなたの顔と住んでいる場所や学校などを結びつけます。あなたが勝手に友達の写真を送ったり、友達の悪口を投稿したりすると、あなたが罪に問われることもあります。一度投稿したものは、二度と削除できません。見知らぬ犯罪者が知らない間にあなたや友達を狙っているかもしれません。



3 知らないサイトに入りません。



あなたが使うものは、利用してよい範囲を家族が決めています。それは、危険な情報からあなたを守るためです。犯罪者は、あなたを喜ばすうそをついて、有害なサイトに誘い込みます。有害なサイトの鍵を開けてしまえば、あなたが危険な状況になったり、払いきれないお金を求められたりすることになります。

4 オンラインゲームで自分勝手に課金をしません。



自分勝手にゲームアプリやアイテムを買ったり、有料の音楽や動画などをダウンロードしたりしていると気付かないうちにお金を使い、高額な請求書がくることもあります。大切なのは、軽い気持ちでゲームやアプリを購入しないこと、アプリを購入したくなくなったら大人に相談することです。クレジットカードは、作った本人以外の方が使用することは禁止です。親や兄弟など家族の間であっても使用してはいけません。危険なサイトで、クレジットカードの情報を一度入力すると、高額な請求をされたり、犯罪に使用されたりすることもあります。